

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2016年1月から2021年7月までに入院にて modified FOLFIRINOX 療法を開始した膵がん患者			
②研究課題名	modified FOLFIRINOX 療法に対する day2 以降のデキサメタゾン投与が遅発期の悪心・嘔吐に及ぼす影響			
③実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2024 年 3 月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	後藤 真実	所属	静岡がんセンター 薬剤部
⑥当院の研究代表者	氏名	後藤 真実	所属	静岡がんセンター 薬剤部
⑦使用する検体・データ	2016年1月から2021年7月までに入院にて modified FOLFIRINOX 療法を開始した膵がん患者さんのカルテデータ			
⑧目的	膵がんへの化学療法として、FOLFIRINOX 療法があります。この治療は悪心・嘔吐のリスクが高い化学療法(以下、HEC)に分類されており、当院では、FOLFIRINOX 療法を一部改変した modified FOLFIRINOX 療法(以下、mFFX 療法)を使用しています。HEC では、制吐目的として3日間のアプレピタント(以下、APR)と2日目以降のデキサメタゾン(以下、DEX)の内服が推奨されています。一部のHECでは、APRを使用した患者さんの2日目以降のDEXについて、投与省略での非劣性を示した報告がありますが、mFFX 療法に関する報告はありません。今回、mFFX 療法の初回投与時における2日目以降のDEX内服が遅発期の悪心、嘔吐に及ぼす影響について調査を行うことを目的としています。			
⑨方法	カルテから患者情報(年齢、性別等)、臨床検査値(血中クレアチニン値等)、悪心、嘔吐の抑制率を調査します。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2021 年 11 月 10 日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利(特許権等)は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222(内線3379)
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。